

大山隠岐国立公園隠岐島地域ビジョン策定の背景と目的

歴史・経緯	<ul style="list-style-type: none">昭和11年2月 1日 :大山国立公園として誕生昭和38年4月10日 :隠岐島地域などが追加され、「大山隠岐国立公園」が誕生平成20年頃から住民が主体となって隠岐の自然や文化を活かしたまちづくりを推進（平成25年9月に「隠岐世界ジオパーク」が誕生）
-------	---

現状・課題	保護の課題	利用の課題	管理運営の課題
	<ul style="list-style-type: none">・自然環境の価値への認知不足・公園計画の見直しの必要性・保護地域の管理不足	<ul style="list-style-type: none">・利用者の減少・質の高い自然体験の不足・快適な利用環境の整備・管理不足	<ul style="list-style-type: none">・活動主体間、島間の連携不足

国立公園の果たすべき役割や、一緒に取り組んでいくための共通の目標(ビジョン)
⇒隠岐の美しい風景や自然の恵みを、守り、伝えていくための「仲間」(連携体制)づくり

検討経緯	現状の課題と住民の意向把握	隠岐地域ビジョンの検討・策定
	<p>H24～H25</p> <ul style="list-style-type: none">・行政関係者、地域活動家への聞き取り(40者)・意見交換会の開催(8回) <p>H26</p> <ul style="list-style-type: none">・住民アンケート(300名超)の実施	<p>H26</p> <ul style="list-style-type: none">・隠岐ビジョン研究会内での検討(4回)・町村長・島根県・ジオパークへの説明・<u>隠岐ビジョンの策定</u>